



吉岡弘昭《寓意の風景・A》  
2022年 作家蔵

問 藤井達吉現代美術館 ☎48-6602

▼日時

**11月15日(土)~12月21日(日)** 10時~17時 (入場は16時30分まで)

※展覧会の詳細は広報へきなん11月号で確認してください。

## 関連イベント

### 記念対談

「プリントとペインティングの往還」

時 11月15日(土) 14時~15時30分

講 吉岡弘昭氏 (画家)  
栗田秀法氏 (跡見学園女子大学教授)

司会 木本文平氏 (藤井達吉現代美術館館長)

定 50人 (先着順) ¥ 無料

### 記念講演会

「吉岡ワールドの創出」

時 11月23日(日) 14時~15時30分

講 木本文平氏 (藤井達吉現代美術館館長)

定 50人 (先着順) ¥ 無料

### アーティストトーク

時 11月30日(日) 14時~15時

講 吉岡弘昭氏 (画家)

定 50人 (先着順) ¥ 無料 (別途観覧料)

#### ▼全共通

申 10月3日(金)10時より①氏名②電話番号  
③参加人数を電話

その後、役場の情報を掲示するために、高札舎を設けました。役場庁舎はその後、昭和五十二年(一九七七)に取り壊されますが、高札舎は道路拡幅により向きを変えて、今も棚尾公民館敷地内に残っています。当室には、棚尾公民館の利用に関する興味深い資料があります。昭和三十二年(一九五七)発行の『碧南市棚尾公民館結婚式御案内』です。



△棚尾町役場竣工記念  
大正14年(1925)竣工。昭和25年(1950)から昭和52年(1977)まで公民館として利用された。

棚尾町は大正十三年(一九二四)に棚尾村が町制施行して誕生しました。近代の棚尾村役場は字加須(現在の源氏町四丁目)にありましたが、道路拡幅の為に、翌大正十四年(一九二五)に字善明(春日町一丁目・汐田町二丁目、現在の棚尾公民館の位置)へ移転しました。

No.117 庁舎タイムスリップ(3)  
棚尾町役場

## 碧南の歴史へのいざない

問 文化財課内市史資料調査室 ☎41-4566



△棚尾公民館での結婚式

和三十三年(一九六三)に市民会館(現在の文化会館の位置)が建設された際に、その機能も移されました。

この後、役場の情報を掲示するために、高札舎を設けました。役場庁舎はその後、昭和五十二年(一九七七)に取り壊されますが、高札舎は道路拡幅により向きを変えて、今も棚尾公民館敷地内に残っています。当室には、棚尾公民館の利用に関する興味深い資料があります。昭和三十二年(一九五七)発行の『碧南市棚尾公民館結婚式御案内』です。

これには、事前準備や式当日の流れなどが細かく記されています。公民館で結婚式が行われたのは、社交儀礼の簡略化や節約など生活改善運動の推進が背景にありました。従来の結婚式は、自宅や料亭で行うのが一般的でしたが、ことわざに「娘三人あれば、身代が潰れる」といわれたほど、嫁入りには莫大な費用がかかり、結納品や事前準備などが大きな負担となっていました。



△現在の棚尾公民館  
写真左に高札舎が見える